



平成26年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年11月6日

上場会社名 日本ペイント株式会社
 コード番号 4612 URL <http://www.nipponpaint.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員総務部長
 四半期報告書提出予定日 平成25年11月11日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有

(氏名) 酒井 健二
 (氏名) 赤木 勤
 配当支払開始予定日

上場取引所 東 名
 TEL 06-6455-9141
 平成25年12月3日

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第2四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第2四半期	126,897	6.3	16,547	22.1	22,687	54.9	15,303	95.5
25年3月期第2四半期	119,333	11.7	13,550	169.8	14,646	126.4	7,829	121.7

(注) 包括利益 26年3月期第2四半期 27,547百万円 (329.8%) 25年3月期第2四半期 6,409百万円 (156.4%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第2四半期	57.94	—
25年3月期第2四半期	29.58	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第2四半期	298,320	190,944	59.9
25年3月期	287,992	172,024	56.0

(参考) 自己資本 26年3月期第2四半期 178,555百万円 25年3月期 161,257百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	6.00	—	8.00	14.00
26年3月期	—	8.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	8.00	16.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	255,000	9.3	31,500	21.8	44,000	33.5	30,000	49.9	114.26

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料4ページ「四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

26年3月期2Q	265,402,443 株	25年3月期	265,402,443 株
----------	---------------	--------	---------------

② 期末自己株式数

26年3月期2Q	4,662,485 株	25年3月期	699,156 株
----------	-------------	--------	-----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年3月期2Q	264,129,462 株	25年3月期2Q	264,714,578 株
----------	---------------	----------	---------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続は別途実施しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料4ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10
(重要な後発事象)	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社グループの当第2四半期連結累計期間の業績につきましては、国内では汎用塗料分野が好調に推移したことや、海外では自動車用塗料の売上高が増加したことなどにより、連結売上高は1,268億97百万円（前年同期比6.3%増）となりました。連結営業利益は継続してグローバルレベルで取り組んでいる原価低減活動の成果もあり、165億47百万円（前年同期比22.1%増）となりました。連結経常利益は持分法投資利益が大幅に増加したことに加え、外貨換算差益を計上したことなどから226億87百万円（前年同期比54.9%増）となり、連結四半期純利益は153億3百万円（前年同期比95.5%増）となりました。

セグメントの状況は次のとおりであります。なお、海外の事業会社においては一部を除いて12月期決算を採用しており、当第2四半期連結累計期間の対象期間は2013年1月から6月となります。

《日本》

当地域では、自動車用塗料は、前年同期の国内自動車生産台数がエコカー補助金の効果によって高水準だったこともあり、当期の生産台数が前年割れとなったことから、売上高は前年同期と比較して減少しました。一方、汎用塗料は好調な市況に加えて新製品を拡販したこと、工業用塗料は住宅資材向け塗料の出荷が好調に推移したことなどから、それぞれ売上高は前年同期を上回りました。

これらにより、当地域セグメントの売上高は909億8百万円（前年同期比1.5%増）となりました。また、連結営業利益は原材料価格が上昇する中、原価低減活動の努力により、134億6百万円（前年同期比14.7%増）となりました。

《アジア》

当地域では、連結会社については、タイを中心に自動車生産台数が増加したことによって自動車用塗料の売上高が好調に推移したことに加えて、円安による増効果も含め、売上高は大幅に増加しました。

これらにより、当地域セグメントの連結売上高は225億51百万円（前年同期比21.1%増）となり、連結営業利益は19億13百万円（前年同期比63.2%増）となりました。

持分法適用会社については、その中核である中国において住宅内装用塗料を中心に売上高が好調に推移したことやコスト削減の効果もあり、その収益性は大幅に改善しました。また、当第1四半期にシンガポールの一部事業の売却益を計上したこともあり、当地域セグメントの持分法投資利益は51億14百万円（前年同期比131.8%増）となりました。

《北米》

当地域における自動車生産台数は前年同期と比較して増加したことに加え、これまでの事業体質改善施策の効果が定着してきたことや材料コストが低減したことなどから、当地域の収益性は着実に向上いたしました。

その結果、当地域セグメントの売上高は119億47百万円（前年同期比21.7%増）となり、営業利益は11億52百万円（前年同期比100.0%増）となりました。

《その他》

当地域セグメントの売上高は14億90百万円（前年同期比13.5%増）に、営業利益は18百万円（前年同期は17百万円の営業損失）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産・負債及び純資産の状況)

当第2四半期連結会計期間末の総資産は前連結会計年度末と比較して103.3億円増加し、2,983億20百万円となりました。そのうち、流動資産につきましては、前連結会計年度末と比較して41.1億円減少しておりますが、主な要因は、売掛債権やたな卸資産が増加した一方で、法人税や配当金の支払い及び借入金の返済に加え、自己株式を取得したことにより現金及び預金が減少したことなどによるものです。

固定資産につきましては、前連結会計年度末と比較して144.3億円増加しておりますが、主な要因は、株価の上昇などにより投資有価証券が増加したことなどによるものです。

負債につきましては、前連結会計年度末と比較して85.9億円減少し、1,073億76百万円となりましたが、主な要因は、借入金を返済したことによるものです。

少数株主持分を含めた純資産につきましては、前連結会計年度末と比較して189.2億円増加し、1,909億44百万円となりました。主な要因は、四半期純利益の計上による利益剰余金の増加に加え、株価の上昇や円安となったことによりその他有価証券評価差額金および為替換算調整勘定が増加したことによるものです。

以上の結果、自己資本比率は前連結会計年度の56.0%から59.9%へ上昇いたしました。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結累計期間は、営業活動により75億54百万円の収入、投資活動により29億23百万円の支出、財務活動により171億37百万円の支出があり、結果として現金及び現金同等物（以下「資金」という）は315億14百万円となり、前連結会計年度末より112.8億円減少いたしました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における営業活動による収入は、75億54百万円（前年同期比26.2億円減）となりました。主な要因は、税金等調整前四半期純利益に減価償却費等の非現金支出費用等を加味したキャッシュ・フロー収入を149億91百万円計上する中、74億36百万円の法人税等の支払いがあったことによるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における投資活動による支出は、29億23百万円（前年同期比3.1億円増）となりました。主な要因は、有形固定資産の取得による支出24億70百万円に加え、投資有価証券の取得による支出4億34百万円があったことなどによるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における財務活動による支出は、171億37百万円（前年同期比17.6億円増）となりました。主な要因は、自己株式の取得に60億25百万円、借入金の返済に84億89百万円、配当金の支払いに24億75百万円を支出したことなどによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期業績予想につきましては、連結売上高・営業利益が前回（平成25年7月19日）公表数値を上回る見通しであることに加え、中国を中心に持分法適用会社事業が引き続き好調に推移していることから経常利益は前回公表を上回る見通しです。

以上を踏まえ、前回公表した通期業績予想を次のとおり修正いたします。

平成26年3月期通期連結業績予想数値(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(単位：百万円、%)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A)	253,000	30,000	39,000	25,500
今回修正予想(B)	255,000	31,500	44,000	30,000
増減額(B-A)	2,000	1,500	5,000	4,500
増減率(%)	0.8	5.0	12.8	17.6

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

(特有の会計処理)

税金費用の計算

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税金等調整前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税金等調整前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	42,797	31,391
受取手形及び売掛金	81,080	82,706
たな卸資産	25,900	27,154
繰延税金資産	3,386	3,381
その他	4,538	9,066
貸倒引当金	△382	△485
流動資産合計	157,320	153,214
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	26,610	26,772
その他(純額)	33,297	34,405
有形固定資産合計	59,907	61,178
無形固定資産		
のれん	11,289	11,198
その他	3,466	3,564
無形固定資産合計	14,756	14,763
投資その他の資産		
投資有価証券	52,495	66,603
繰延税金資産	1,546	795
その他	2,559	2,332
貸倒引当金	△593	△566
投資その他の資産合計	56,008	69,164
固定資産合計	130,672	145,106
資産合計	287,992	298,320

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	55,469	55,230
短期借入金	13,859	12,675
リース債務	293	274
未払法人税等	6,501	4,668
繰延税金負債	0	0
その他	14,399	14,113
流動負債合計	90,523	86,962
固定負債		
長期借入金	7,883	937
リース債務	611	807
繰延税金負債	1,340	2,705
退職給付引当金	10,925	11,375
役員退職慰労引当金	269	217
環境対策引当金	328	328
製品保証引当金	287	77
その他	3,797	3,963
固定負債合計	25,444	20,413
負債合計	115,967	107,376
純資産の部		
株主資本		
資本金	27,712	27,712
資本剰余金	27,187	27,187
利益剰余金	112,318	125,503
自己株式	△337	△6,362
株主資本合計	166,881	174,041
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,950	7,450
繰延ヘッジ損益	0	0
為替換算調整勘定	△9,574	△2,937
その他の包括利益累計額合計	△5,623	4,513
少数株主持分	10,766	12,389
純資産合計	172,024	190,944
負債純資産合計	287,992	298,320

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
四半期連結損益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
売上高	119,333	126,897
売上原価	77,975	80,688
売上総利益	41,358	46,208
販売費及び一般管理費	27,807	29,661
営業利益	13,550	16,547
営業外収益		
受取利息	38	32
受取配当金	203	313
貸倒引当金戻入額	17	32
持分法による投資利益	2,207	5,114
為替差益	—	983
その他	519	514
営業外収益合計	2,986	6,991
営業外費用		
支払利息	207	146
支払補償費	258	282
為替差損	996	—
その他	427	422
営業外費用合計	1,889	850
経常利益	14,646	22,687
特別利益		
固定資産売却益	3	56
投資有価証券売却益	0	—
特別利益合計	3	56
特別損失		
投資有価証券売却損	2	—
固定資産除売却損	38	448
減損損失	34	—
投資有価証券評価損	926	44
その他	1	3
特別損失合計	1,003	496
税金等調整前四半期純利益	13,646	22,247
法人税等	5,199	5,769
少数株主損益調整前四半期純利益	8,447	16,477
少数株主利益	617	1,174
四半期純利益	7,829	15,303

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	8,447	16,477
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,391	3,498
繰延ヘッジ損益	7	0
為替換算調整勘定	△127	4,250
持分法適用会社に対する持分相当額	△525	3,320
その他の包括利益合計	△2,038	11,069
四半期包括利益	6,409	27,547
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	5,933	25,440
少数株主に係る四半期包括利益	475	2,107

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	13,646	22,247
減価償却費	3,169	3,002
減損損失	34	—
受取利息及び受取配当金	△241	△346
支払利息	207	146
持分法による投資損益(△は益)	△2,207	△5,114
有形固定資産除売却損益(△は益)	34	392
投資有価証券売却及び評価損益(△は益)	928	44
売上債権の増減額(△は増加)	△687	1,306
たな卸資産の増減額(△は増加)	△229	198
仕入債務の増減額(△は減少)	1,620	△2,030
その他	△1,181	△5,076
小計	15,094	14,771
利息及び配当金の受取額	1,465	392
利息の支払額	△270	△173
法人税等の支払額	△6,111	△7,436
営業活動によるキャッシュ・フロー	10,177	7,554
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△2,066	△2,470
有形固定資産の売却による収入	6	91
投資有価証券の取得による支出	△197	△434
投資有価証券の売却による収入	8	21
その他	△367	△131
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,615	△2,923
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△6,571	△8,477
長期借入れによる収入	127	19
長期借入金の返済による支出	△7,039	△12
リース債務の返済による支出	△181	△167
自己株式の取得による支出	△2	△6,025
配当金の支払額	△1,323	△2,117
少数株主への配当金の支払額	△389	△357
財務活動によるキャッシュ・フロー	△15,381	△17,137
現金及び現金同等物に係る換算差額	△192	1,227
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△8,012	△11,278
現金及び現金同等物の期首残高	35,126	42,793
現金及び現金同等物の四半期末残高	27,114	31,514

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、平成25年8月23日開催の取締役会において、会社法第165条第3項の規定により読み替えて適用される同法第156条の規定に基づく、自己株式の取得を決議し、平成25年9月2日から9月6日までの買付をもって自己株式3,942,000株(取得価額5,998百万円)を取得いたしました。これにより、当第2四半期連結会計期間末において自己株式が6,362百万円(4,662,485株)となっております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント				その他 (注) (百万円)	合計 (百万円)
	日本 (百万円)	アジア (百万円)	北米 (百万円)	計 (百万円)		
売上高						
外部顧客への売上高	89,577	18,626	9,816	118,020	1,313	119,333
セグメント間の内部売上高 又は振替高	5,970	1,312	68	7,351	354	7,706
計	95,547	19,939	9,884	125,371	1,667	127,039
セグメント利益又は損失(△)	11,689	1,172	576	13,438	△17	13,420
持分法投資利益	0	2,206	—	2,207	—	2,207

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、欧州等の現地法人の事業活動を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

利益	金額(百万円)
報告セグメント計	13,438
「その他」の区分の損失(△)	△17
セグメント間取引消去その他の調整額	130
四半期連結損益計算書の営業利益	13,550

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「日本」セグメントにおいて老朽化により遊休状態になった事業用の固定資産について、帳簿価格を回収可能価額まで減額し、当該減少額を減損損失として特別損失に計上いたしました。

なお、当該減損損失の計上額は、当第2四半期連結累計期間においては34百万円であります。

4. 製品及びサービスに関する情報

外部顧客への売上高	金額(百万円)	前年同期比(%)
塗料	112,752	12.7
自動車用	41,468	26.2
汎用	22,001	14.6
工業用	22,005	4.2
その他塗料	27,278	1.7
ファインケミカル	6,581	△3.4
合計	119,333	11.7

(注) 金額には、消費税等は含まれておりません。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント				その他 (注) (百万円)	合計 (百万円)
	日本 (百万円)	アジア (百万円)	北米 (百万円)	計 (百万円)		
売上高						
外部顧客への売上高	90,908	22,551	11,947	125,407	1,490	126,897
セグメント間の内部売上高 又は振替高	6,658	1,483	70	8,212	468	8,680
計	97,567	24,035	12,017	133,619	1,958	135,578
セグメント利益	13,406	1,913	1,152	16,471	18	16,490
持分法投資利益又は損失(△)	△0	5,114	—	5,114	—	5,114

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、欧州等の現地法人の事業活動を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

利益	金額(百万円)
報告セグメント計	16,471
「その他」の区分の利益	18
セグメント間取引消去その他の調整額	56
四半期連結損益計算書の営業利益	16,547

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

4. 製品及びサービスに関する情報

外部顧客への売上高	金額(百万円)	前年同期比(%)
塗料	119,701	6.2
自動車用	45,743	10.3
汎用	24,343	10.6
工業用	23,345	6.1
その他塗料	26,270	△3.7
ファインケミカル	7,196	9.3
合計	126,897	6.3

(注) 金額には、消費税等は含まれておりません。

(重要な後発事象)

当第2四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年9月30日)

当社及び国内連結子会社は、平成25年10月1日付で確定給付年金制度の一部について確定拠出年金制度へ移行しました。この移行に伴う会計処理については「退職給付制度間の移行等に関する会計処理」(企業会計基準適用指針第1号)を適用する予定であります。

なお、本移行に伴う影響額については、算定中であるため記載しておりません。